

# 「仮設住宅の再編等に係る子供の学習支援によるコミュニティ復興支援事業」の取組事例

## 「奥州市学校支援地域本部事業」の成果と課題(岩手県奥州市)

### 取組事業

奥州市学校支援地域本部事業

### 活動実施場所

水沢中学校、水沢小学校、佐倉河小学校、東水沢中学校、常盤小学校、羽田小学校、水沢南中学校、水沢南小学校、真城小学校、姉体小学校、黒石小学校、江刺第一中学校、岩谷堂小学校、江刺愛宕小学校、田原小学校、稲瀬小学校、小山中学校、胆沢第一小学校

### 取組概要

#### 【学校支援地域本部事業】

学校が必要とする場面において、地域住民の協力を得ることで、先生が子供たちと向き合う時間を増やし、子供たちが落ち着いて学べる環境をつくることを目的として、市内5本部18校で事業を実施している。

5本部それぞれに設置している地域コーディネーターが中心となり、多くのボランティアの協力の下、読み聞かせや授業支援、校内整備活動等の学校のニーズに応じた活動が行われている。



左：読み聞かせ 右：ミシンの授業補助

### 事業成果

#### 【学校支援地域本部事業】

・各地域本部で、学校と地域のそれぞれの協力の下、魅力ある活動が数多く行われた。読み聞かせや図書室の装飾は読書活動の推進につながっているほか、家庭科等の授業支援や校外学習の引率補助は、学校活動の一助となり、先生方が人手を必要とする場面に対応することができている。夏休み中の学習会のサポート等の新たな取り組みも見受けられ、活動内容の益々の充実が図られている。

・コーディネーターが中心となり、地域本部がある中学校区の枠を越えた活動もあらわれはじめている。こうした全市的な協力体制の構築により、各本部それぞれのボランティアの得意分野を共有しあうことができ、各校における活動の幅が広がっている。また、ボランティアは楽しんで活動に参加しており、生きがいづくり、地域住民同士の交流を深めるきっかけにつながっている。

### 課題や今後の取組

#### (課題)

・事業を順調に進められている分、学校からのニーズも増えつつあるが、ボランティアの登録人数が足りず、人手不足に悩む地域本部もある。地区を越えた活動を充実させることで、人手不足を補填するほか、更なる地域住民の参加を促すべく、事業の地域への周知に努めたい。

・よりきめ細やかな学校のニーズに対応するため、先生方への一層の事業周知にも力を入れる必要がある。